

「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならないのです。」(新約聖書ヘブル人への手紙 11 章 6 節)

1、神がおられる

人生は選択によって決まると言えますが、私たちは基本的に2つの人生の選択があります。それは、聖書の神様を信じるか、信じないかという選択です。この選択によって私たちの人生は決定的な影響を受けるのです。

聖書の神様は創造の神様であり、愛と義と聖に満ちた人格を持つ神様です。従って、聖書の神様抜きに宇宙の存在や、人格の形成、道徳的価値や人生の意味を説明することはできません。

私たち人間の存在を基本的に支えているのは聖書の神様の存在なので、聖書の神様の存在を否定するなら自分自身を否定するニヒリズムに陥るしかないのです。

2、神は報いてくださる

神様の存在を信じるなら人生の意味や目的を発見できるでしょう。あなたが何のために生きているのかが明確になるのです。しかし、それだけでは十分ではありません。神様を信じるとは、単に神様がおられると言うだけでなく、神様が私たちの祈りに応えてくださる善い方だと言うことを信じるということなのです。そうでなければ神様を信じる意味がありません。聖書は「創造の神様は愛です。」と宣言しています。

幸せな人生の条件は自分と家族、世界への肯定的姿勢を持つことであり、信頼と愛を持つことですが、これは心理学的には親との信頼関係が鍵となると言われます。

しかし、親がまだ存命で、理解に満ちた、受容的な親ならば良いのですが、いまさら成育歴も亡くなった親を変えることも出来ないのだからと思われる方もおられることでしょう、。

聖書の神様は私たちの天の父なる方と言われます。神様は本当に良いお方であると言うのが私の60数年の人生の結論です。人生は長生きすることも素晴らしいことですが、もっと素晴らしいのは人生の長短に関わらず、神様はとても良い方で、私の人生もいろいろあっても結局、良かったと言えることではないでしょうか。聖書を学び、祈り続けることで誰でも幸せな人生を生きることができるのです。

3、神がともにいてくださる

神様は愛の神様です。決してあなたを一人にされることはありません。あなたの人生に関心とご計画を持ち、あなたが心を開くなら必ず助けの手を伸ばして下さるのです。聖書を通し、祈りを通し、クリスチャンの友達や牧師、教会を通して、。

神様はいつもあなたの味方なのです。そして、聖書の神様の愛を受けてあなたが成長する時、あなた自身もあなたの家族も友も必ず祝福されていくのです。